

# HIDE'S NEWS

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース

2016年7月号



ひでかず  
**わたなべ 秀一**  
HIDEKAZU WATANABE

つくるため  
未来のカタチを

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース2016年7月号 2016年7月1日発行 発行/わたなべ秀一 後援会 制作/面白商事さねお

## HIDE'S VOICE



5月28日、母校でもある黒内小学校の運動会に出席しました。  
全国的に少子化が進む中ですが、児童数が毎年増加しています。  
そしてなんと、5.6年生より1.2年生の児童の方が多いのです。

### 6月定例会

#### わたなべ秀一の一般質問

1. つくばエクスプレス通学定期代の割引率拡大について
  - ◎通学している学生数
  - ◎これまでの守谷市からの要望
  - ◎市長の考えについて
2. 守谷駅周辺の歩道整備について大規模な補修工事の予定について
  - ◎現状の状態
  - ◎景観や材質について
  - ◎今後の維持管理

#### わたなべ秀一 プロフィール

有限会社 渡辺商店代表取締役  
生年月日:昭和47年1月8日  
守谷町立 黒内小学校 卒業  
守谷町立 守谷中学校 卒業  
茨城県立 守谷高等学校 卒業  
千葉商科大学 経営学科 卒業  
明治大学公共政策大学院 在学

守谷市商工会青年部 部長(H21~22)  
がぶりメンチの考案&プロデューサー  
(社)常総青年会議所 理事長(H23)  
※現在の(一社)茨城県南青年 会議所  
守谷市議会議員 初当選(H24)  
守谷市議会議員 2期当選(H28)  
都市経済常任委員会 委員(H28~)  
決算予算特別委員会 副委員長(H28~)  
スポーツ推進特別委員会 委員(H28~)  
地方創生特別委員会 委員(H27~)

わたなべ秀一 後援会

〒302-0109 守谷市本町260  
TEL 090-3234-2809 FAX 0297-48-1487  
nabesta1211@yahoo.co.jp

わたなべ秀一

HIDE'S NEWS

独自調査

守谷と取手の子ども施設

昨年10月に取手駅西口にオープンした、公共施設『取手ウエルネスプラザ』と、こちらも同時期に新設された『守谷駅前親子ふれあいルーム』の両方に、私の姪っ子連れで調査をしてきました。日付は4月下旬の午後2時から4時過ぎ。

『取手ウエルネスプラザ』は1時間利用の場合、子ども100円、保護者無料でキッズスペースが利用できます。キッズスペースはプレイルームが主体であり、木製の滑り台やフワフワドームなどの遊具が充実。親子合わせ40人以上の賑わいがありました。一方、守谷の『親子ふれあいルーム』は、親子合わせて7人程度の閑散とした印象でした。施設コンセプトに違いがあるにせ

よ、歳の姪は『取手ウエルネスプラザ』のプレイルームに夢中になって遊んでいる様子でした。

これまでの守谷市には、南北エリアに『南守谷児童センター』と『北守谷児童センター』の子ども施設がありました。しかし中央には無いことから、子育て世代のママを中心に、「子ども施設を」との声が多くありました。そのような中で『守谷駅前親子ふれあいルーム』は、国の地方創生先行型交付金の部を充当し建てられた経緯があります。今回、私が利用者として感じたことは「施設ありきになっているのでは」ということです。今後、子ども目線をもっと捉えなが



プレイルームで夢中になる姪っ子

ら改善できるよう取り組んでまいります。

HIDE'S NEWS

夏本番！ 親水公園がオープンするも・・・

旧アピタ横の立沢公園敷地内に、子どもが水遊びのできる親水公園ができました。この事業は、国の『まち・ひと・しごと総合戦略』における子育て支援基盤の強化事業として整備されたものです。

わたなべ秀一は、この一角は景観が良く利用価値が高い場所と考えます。例えば、お洒落なフードコート



立沢公園隣に完成した、親水公園

HIDE'S NEWS

熊本地震からみえる避難所生活の問題点

このたびの熊本地方で発生した地震により、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の熊本地震で問題になっている事の1つが、一般の避難所での生活が難しい、高齢者や障害者の災害弱者を受け入れる『福祉避難所』の問題です。守谷市においては、市内7か

所の福祉施設と協定を結んでおり、昨年9月の東日本豪雨の際には、守谷市の自主判断により、提携先の福祉避難所を開設し、3名の方を守谷中学校体育館などの一般避難所から福祉避難所へ移動した経験があります。守谷市は比較的、災害に強いまちと言われていますが、熊本地震の様な

HIDE'S NEWS

1報

強い揺れが複数回起こった場合、多くの建物の倒壊が予想され、避難所生活も想定されます。わたなべ秀一は、災害弱者対策という観点から防災を見直す必要があると考えます。その為に各機関との連携強化を図り、イザという時に備えが發揮できるよう議会を通して提言してまいります。

わたなべ秀一は、今年1月の守谷市

議会議員選挙において、「二期目の当選を果たすことができました。また、『都市経済常任委員会』・『決算予算特別委員会 副委員長』・『スポーツ推進特別委員会』・『地方創生特別委員会』の所属が決定いたしました。わたなべ秀一「スローガン」は「はじめよう、未来のカタチづくり」を掲げ、今後とも守谷市発展のため、より「層頑張り」をします。



閉鎖中の旧アピタ駐車場



郵便局隣の新しい分駐車スペース

旧アピタ跡地問題はもとより、立沢公園とその駐車整備も含めた体系的な事業計画を行い、このエリアをあらゆる世代が楽しめる、新守谷の名所にしなくてはなりません。